



# 連結会計の基礎知識

---

やさしい現代会計の中級講座  
CD第1巻

公認会計士 柴山政行

サンプル版(連結:一部、金融商品・  
退職給付:目次のみ)



# 目次

---

## 1. 連結会計の視点

(1) 連結会計がなぜ必要か？ (2) 連結財務諸表とは (3) 連結決算の流れ

## 2. 連結の範囲

(1) 持分基準 (2) 支配力基準 (3) 連結外しと経営者のモラル

## 3. 連結B / Sの作成

(1) 単独B / Sの合算 (2) 「子会社株式」と「純資産」の相殺  
(3) 取得時の時価評価(土地) (4) のれん (5) 少数株主持分

## 4. 連結P / Lの作成

(1) 単独P / Lの合算 (2) 内部取引の相殺消去 (3) 未実現利益の消去  
(4) 少数株主持分利益 (5) のれんの償却

## 5. 持分法

(1) 持分法とは (2) 持分法適用損益

(参考) 連結B / S、連結P / L、連結株主資本等変動計算書の関係

# 1. 連結会計の視点

## (1) 連結会計がなぜ必要か？

- 「**イグジット・ストラテジー**(脱出戦略)」の時代に、連結データは不可欠  
企業または企業集団を、より小さい単位のグループに分けて、利益計算をさせる戦略のこと。  
「業績不振のグループ 処方1:リーダー交代 処方2:配置換え 処方3:グループ廃止」
- **企業外部者の立場**から見た、連結決算の必要性・・・グループ全体の実態を把握する資料

(親会社単体での決算書) 業績が好調で、借金も少ない！

(グループ全体での実態)

親会社でだぶついた\*\*を、子会社に「**押し込み販売**」  
値崩れした不動産・有価証券を\*\*\*\*\*する「**飛ばし**」  
「**益出し**」のために、\*\*\*のある資産を子会社に売却  
「**親会社のために\*\*\*\*\***」を抱える子会社の存在

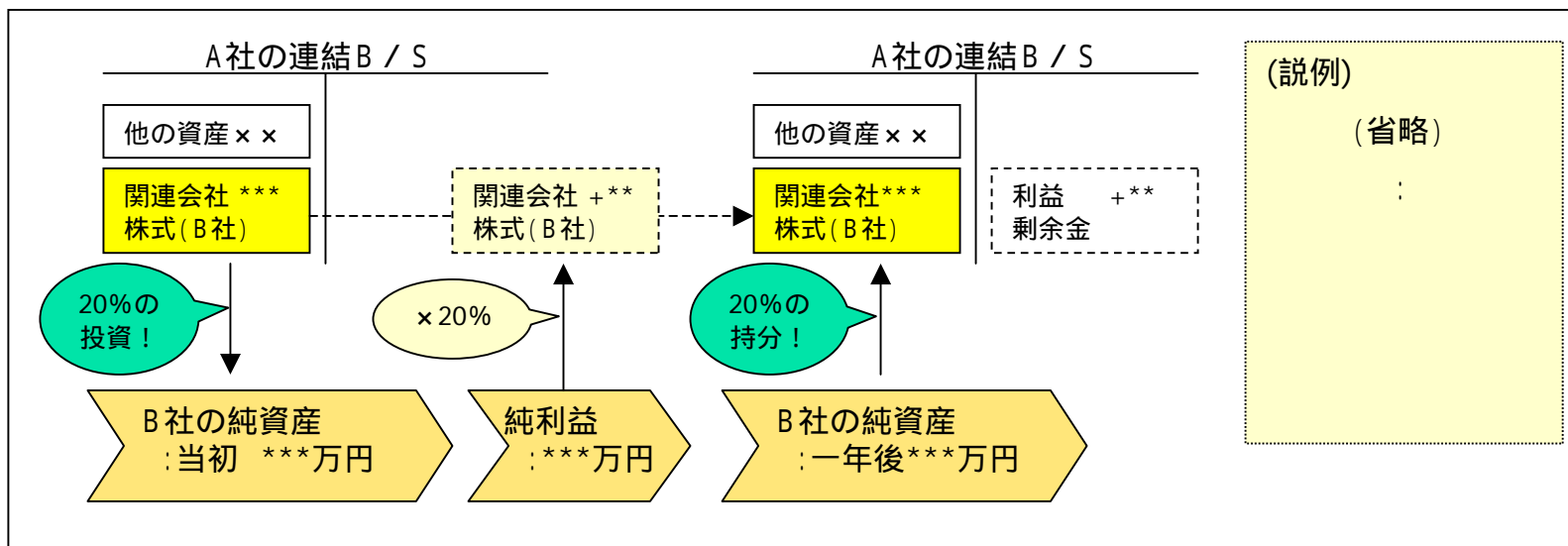
(注)本資料は、ウェブ用に一部記載を省略して公開しています。

# 5. 持分法

## (1) 持分法とは

- 持分法の意味 …… 株式の評価方法の一つ。現行制度では、関連会社の株式に適用する。当初は、…(以下省略)

(注)本資料は、ウェブ用に一部記載を省略して公開しています。



# (参考) 連結B/S、連結P/L、連結株主資本等計算書の関係

連結貸借対照表

資産の部	負債の部
流動資産	流動負債
現金及び預金	支払手形及び買掛金
⋮	⋮
固定資産	固定負債
⋮	社債
(以下省略)	⋮
	純資産の部
	株主資本
	1 資本金
	2 資本剰余金
	3 利益剰余金 ****
	4 自己株式
	評価・換算差額等
	新株予約権
	少数株主持分

連結株主資本等変動計算書

株主資本 …	
	利益剰余金
*****…	820
⋮	⋮
剰余金の配当	***
⋮	⋮
当期純利益	***
⋮	⋮
当期変動額合計	***
⋮	⋮
当期末残高	****

連結損益計算書

売上高	
売上原価	_____
売上総利益	
販売費及び一般管理費	_____
営業利益	
営業外収益	
営業外費用	_____
経常利益	
特別利益	
特別損失	_____
税金等調整前当期純利益	
法人税等	_____
少数株主利益	_____
当期純利益	***

(注) 本資料は、ウェブ用に一部記載を省略して公開しています。



# やさしい金融商品会計 (時価会計の基礎)

---

やさしい現代会計の中級講座  
CD第2巻  
公認会計士 柴山政行

サンプル版(連結:一部、金融商品・  
退職給付:目次のみ)



# 目次

---

1. 金融商品の範囲
  - (1) 金融資産 (2) 金融負債ほか
2. 時価会計がなぜ必要なのか？
  - (1) 時価会計とは (2) 必要とされる背景 (3) 約定日基準
3. 金銭債権の評価(貸倒引当金の設定)
  - (1) 意味と範囲 (2) 評価原則 (3) 債権の3分類 (4) 貸倒れの見積り
4. 有価証券の会計
  - (1) 意味と範囲 (2) 評価原則と4分類 (3) 評価差額 (4) 減損処理
5. デリバティブ取引の会計
  - (1) 意味と範囲 (2) 評価原則 (3) 評価差額 (4) ヘッジ会計



# やさしい退職給付会計概論

---

やさしい現代会計の中級講座

CD第3巻

公認会計士 柴山政行

サンプル版(連結:一部、金融商品・  
退職給付:目次のみ)



# 目次

---

1. 退職給付のしくみ
  - (1) 退職給付引当金の意味 (2) 企業年金のしくみ
2. 会計ビッグバン以前の問題点
  - (1) 退職給与引当金という負債 (2) 年金積立不足の不開示問題
3. 年金負債・年金資産の測定
  - (1) 引当額の計算 (2) 予測給付債務(PBO) (3) 年金資産の測定
4. 年金費用の測定と認識
  - (1) 年金費用の要素 (2) 勤務費用 (3) 利息費用 (4) 期待収益
5. 数理計算上の差異などを、どう処理するのか？
  - (1) 数理計算上の差異 (2) 過去勤務債務 (3) 会計基準変更時差異
6. 退職給付引当金のB / S計上
  - (1) 年金資産 < 年金債務のケース (2) 年金資産 > 年金負債のケース